

夢のつばさ

令和3年度
函南小学校だより

No.10 1月号

2022年のスタートに向けて！

2022年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

学校では、残り3ヶ月の教育活動を新型コロナウイルス感染症の感染防止に努める中、子供たちが安心して学び、それぞれの子供たちの有する資質・能力の向上に取り組んでまいります。

そして、学校運営では、令和3年度の教育活動を振り返り、その成果と課題を分析・考察する中、令和4年度の教育活動に向けての準備を進めているところです。保護者の皆様方におかれましては、昨年末に実施した学校の教育活動に関するアンケート調査や「ハラスメント」「体罰」等に係るアンケート調査へのご協力をありがとうございました。今後も、児童に寄り添い人権を大切に温かな学校作りを推進してまいります。

さて、函南町が推進する「函南スタンダード(小学校版)」では、次の5つの視点から、児童の成長を目指すことが示されています。

- ①進んであいさつをする
- ②決まりや時間を守る
- ③人の話を集中してきく
- ④運動やスポーツ、外遊びにはげむ
- ⑤読書に親しむ

★R3 函南小で重点的に取り組みました

★R3 函南小で重点的に取り組みました

本校では、上記の①「進んであいさつをする」と⑤「読書に親しむ」に重点的に取り組んできました。①については、教師の指導とともに、児童会が今年度取り組むテーマを「すすんであいさつすることで笑顔明るい元気な学校」と設定し、子供たちが中心となり「あいさつ運動」を実施しました。1学期の前半は、子供たちの元気なあいさつが響いたのですが、だんだんとそうした声が聞こえなくなってしまったことが課題です。新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、大きな声を出さないようになってしまったことも要因の一つですが、朝の交通指導であいさつをしても「する子」と「しない子」が分かれてしまっていることが気になります。もちろんこちらの声掛けを契機にすすんであいさつをする子も現れてきています。これからの時代に生きる子供たちには、コミュニケーション能力が求められます。その視点からも「あいさつ」を大切にしたいです。

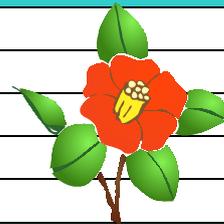
⑤については、各学級担任が読書を奨励するとともに、校長が始業式や朝会で、読書の大切さを校内放送で伝えてきました。併せて、今年度は、月曜日と金曜日の朝、8時10分から25分までの15分間を「読書の時間」と位置付け、読書をする時間の確保に努めました。また、児童会の図書委員会も「函南小 人気本ランキング」を行い、図書室にある図書の紹介を行いました。保護者や地域の皆様方にも「図書ボランティア」や「読み聞かせボランティア」等でお手伝いいただいております。今年は、一層、読書の推進に力を入れていきたいと考えます。しかし、この読書の定着もたいへん難しいです。これについても「本を読む子」と「読まない子」が分かれてしまっているように思えるからです。

榎本博明著『読書をする子は〇〇がすごい』（日本経済新聞出版本部2021年5月）や川島隆太監修、松崎泰、榎浩平著『最近脳科学でついに出了結論「本の読み方」で学力は決まる』（青春出版社2018年9月）には、読書のもつ可能性について述べられています。

この2冊は、たいへんおもしろいし参考になります。子育てにも有効です。榎本氏は、著書の中で次のように述べています。

「子が親から学ぶのは語彙だけではない。語彙を増やすには本を読むことが大切と言われるが、子供が本を読みたいと思うかどうか、じつは親の態度のモデリングによるところが大きい。日常生活の中で、親が本を熱心に読むのを見ていれば、子供はその姿勢をモデリングによって身に付け、本を読むようになる可能性が高い。…」

昨年秋には、「親子郵便」を行い、親と子が相互にお薦めの本を紹介し合いました。とても素敵な取組ですね。お父さんやお母さんは、仕事でお疲れのことと思います。しかし、30分間でもお子さんと読書を楽しむ時間を設けていただけたらと願います。もちろんいくら環境づくりに腐心したところで上手くいかないこともあるでしょう。しかし、お子さんの明るい未来と可能性を信じて、学校と家庭で協力して推進していけたらと思います。よろしくお願いいたします。（文責 渡邊）

| 日 | 曜 | 行事・活動 | 給 |
|----|---|--|---|
| 1 | 土 | 元日  | |
| 2 | 日 | | |
| 3 | 月 | | |
| 4 | 火 | 仕事始め  | |
| 5 | 水 | | |
| 6 | 木 | 1月授業開始日 特日4時間 | × |
| 7 | 金 | 特日4時間 身体測定6年 | × |
| 8 | 土 | | |
| 9 | 日 | | |
| 10 | 月 | 成人の日  | |
| 11 | 火 | 定着度調査委員会⑨ ペア活動 | ○ |
| 12 | 水 | 12年5切 身体測定5年 | ○ |
| 13 | 木 | 1年5切 身体測定4年 PTA役員会 18:30~ | ○ |
| 14 | 金 | 身体測定3年 | ○ |
| 15 | 土 | | |
| 16 | 日 | 町マラソン大会 | |
| 17 | 月 | 1年5切 身体測定2年 代表委員会  | ○ |
| 18 | 火 | 身体測定1年支援 | ○ |
| 19 | 水 | 12年5切 | ○ |
| 20 | 木 | | ○ |
| 21 | 金 | フッ素洗口 | ○ |
| 22 | 土 | | |
| 23 | 日 | | |
| 24 | 月 | 1年5切 | ○ |
| 25 | 火 | 6切 | ○ |
| 26 | 水 | 12年5切  | ○ |
| 27 | 木 | | ○ |
| 28 | 金 | フッ素洗口 | ○ |
| 29 | 土 | | |
| 30 | 日 | | |
| 31 | 月 | 6切 教育相談 (~2/4) | ○ |

MOA美術館児童作品展 文部科学大臣賞 学校奨励賞受賞!

MOA美術館児童作品展は、「学習指導要領」にもとづき、子どもたちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に毎年開催しています。

この作品展の第31回を見てみますと、海外を含む400を超える会場で開催し、応募総数40万点以上、参加校数9,000校以上という規模の作品展です。今年度の参加規模は正式にはまだ公表されていませんが、これと同じくらいの数が参加しているものと思われます。小学生の作品展としては、国内最大規模のコンクールとなっています。

そして、この作品展には文部科学省をはじめ、外務省、厚生労働省、農林水産省、環境省、日本ユネスコ国内委員会等が後援する格式の高い作品展です。



本校においては、夏休み中の自由課題として、毎年多くの児童が作品作りに挑戦し、参加しています。今回、これまでの本校の参加と取組が認められ、国内外参加校から本校を含む計6校が「文部科学大臣賞学校奨励賞」に選ばれました。1月末に表彰式がリモートで実施されます。

Chromebook

令和3年度、スタートより文科省が進める「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台端末が用意され、それを使いながら、授業に取り組んで来ました。どの学年も、それぞれの発達段階に応じた使用の仕方も、少しずつですができるようになってきています。次の段階として、自宅でも使用していくことを進めていきます。そこで1月中に、一度クロームブック（端末）を家に持ち帰らせたいと考えています。細かい日程等については、決まり次第連絡させていただきます。それぞれの家庭のWi-Fi環境への接続等への協力をお願いします。

